

やさしい日本語

『やさしい日本語』とは、だれにでも伝わるように言葉や文章を簡単にした日本語のことを言います。「やさしい」の言葉は、簡単という「易しい」と、使う人の「優しい」気持ちの2つの意味が込められています。

外国からの旅行者や働く人



障がいがある人

英語を話さない地域の人には、英語よりもやさしい日本語の方が伝わりやすいです。

簡単に短い文章は、手話を使う人が口元を見たときにも内容がわかりやすいです。

高齢者や認知症の人



子どもたち

漢字や熟語が多い長い説明より、簡単な文章は読みやすく、聞きやすいです。

難しい言葉を簡単な言葉に言い換えることで、子どもたちにも内容がわかります。

日ごろ、日本語を使う私たちは、災害の危険を知らせるとき、ごみの捨て方などの情報を伝えるとき、仕事で作業する内容を教えるときに、だれもが理解できるように説明する必要があります。地域のさまざまな人たちとコミュニケーションをとるときに、「やさしい日本語」を使うことは効果がある方法です。

『やさしい日本語』のコツは「ハサミの法則」が基本です



はっきり言う：はっきり伝える。あいまいな言い方はしない。

×土足厳禁 → ○靴を脱いでください ×現金しか使えません → ○現金だけ使えます

さいごまで言う：文末まではっきり言う。途中で止めない。

×郵便局に行きたいんですが… → ○郵便局にはどうやって行ったらいいですか

みじかく言う：一文はみじかく言う。だらだらつなげない。

×私は医者をしている兄がいます。 → ○私には兄がいます。兄は医者をしています。

地域には、いろいろな文化や価値観を持つ人たちが暮らしています。みんながちがいを認め合い、ともに協力するためには、お互いに話しあい、必要なときには助け合える関係づくりが大切です。「英語が話せない」「手話はわからない」から、「相手に話してもわからない」と思い込んでいませんか？そんなとき、『やさしい日本語』を思い出して、やさしい言葉と気持ちで話しかけてみましょう！